
はじめての伝説(スケッチブック外伝)

青い羽飾り

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はじめての伝説（スケッチブック外伝）

【Nコード】

N5042C

【作者名】

青い羽飾り

【あらすじ】

伝説の桜の木の火事の複線ストーリーです15日終戦記念日にて
加筆

（前書き）

この話は 本編のスケッチブックの桜の木の火事のあとがきの
線ストーリーです 複

はじめての伝説

火事の後始末をしている夕菜は　ひと段落して　眠ってしまった
ふと　目を開けると　周りの様子が違う　今までいた人たちがまっ
たく居ない　そばには一人の少女が　桜の木の掃除をしているだけ
で　服装も　制服を着ているのだが　なんだか　変　非常に古い感
じで　しかも　スカートでなくズボンみたいなをはいている　夕
菜が声をかけても　聞こえないようだ　しかも　その子に触ろうと
したが　手がすり抜けてしまった
夕菜は自分がどうなったか　わからないまま　ぼーぜんとしてしま
った

そこに同じような　服を着ている　女の子が声をかけてきた
女の子　桜野さーん　早く防空壕に入らないと・・・あぶないよ
桜野　うんうん　ちよつとまって　もうすぐ終わる
青井「えっ　なにに　防空壕って??　この子達は何　わたしど
うしちゃったの??」

女の子は　女の子に　催促をされるように立ち上がり　木の近くを
はなれようとした

夕菜も　ひとりきりには　なりたくないとおもい　女の子の後をつ
いていった　女の子を見失いようについていくが　周りを見ると
風景がぜんぜん違う　学校の校舎も　夕菜のしっているのとは　ま
ったく別物である　体育館もプールもないし

防空壕内

女子　遅いよ桜野さん・・・防空壕の中は　5人ほどの人がいた
全員　同じあの変な制服をきている

女子　ねえねえ・・・さっきのサイレン聞いた???・・・なんかこ

こもいよいよ 爆撃されると 先生が言っていたよ

青井 爆撃って 戦争でも始まったの?? . . . 無論女の子たちは聞こえているわけが無い

女子 桜野さん 何していたの??

桜野 うん 桜の木の掃除

女子 爆撃されたら あの木も燃えちゃうし . . . なんて そんな危ないことを??

桜野 だって あの木は 待ち合わせの場所なの . . .

女子 でも 出兵する人と 結婚までするなんて 桜野さんも本当に 愛していたのね

女子 わたしも この戦争 終わったらいいひとみつけて 子供をつくって しあわせになるんだ

女子 ところで . . . 旦那様から手紙来るの . . . ?

桜野 いや 最後に来たのが三ヶ月ほど前 無事にいるかな?

女子 無事だよ 絶対に . . . 貴方の元に返ってくるよ

女子 それまで私たちも たすけあって いきのこらないと いけないよ

桜野 うんうん そうだね わたし がんばる

女子 あの桜の木が約束の場所って . . . ?

桜野 あのひと 出兵する前夜 私たち結婚したの あのひと 無事に帰って来ると 約束したの

桜野 そして もう一度、出会った あの桜の木の下で おはなししよう と 誓いあったの

女子 そうか . . . 私たちも お祈りするよ . . . あなたたちが

絶対 再会できる事を

空襲が始まる

ドンドンドン

キャー . . .

あっ 爆撃はじまった

一時間ほどで 爆撃のおとは きこえなくなった

桜野は いてもたってもいられなくなり さくらの木の方に向かう
と言い 防空壕を出て行った

危ないよ桜野さん もどってきなよ まだ、危ないよ

桜野は 聞こえないかのように 木のもとに急いだ

川の手前にかかったとき 近くの木が彼女にたおれてきた

下敷きにはならなかったが 彼女の 運悪く 胸に折れた木の枝が
刺さってしまった

桜野は それでも はいずりながら 木の元にむかった

夕菜は爆撃からいままでの 事をみていたが なにもできないでい
た

それは 体がなにもできないのも そうだが すさまじい 光景は
夕菜にとつてとつて すごい 衝撃な出来事ばかりであつた

這つても木の元に むかう 桜野にむかつて がんばれ がんば
れと 桜野には聞こえないが 何度も言うことだけが 夕菜にでき
る 唯一の行動だ

ようやく木の下にたどり着いた彼女の胸からは 血が滴り落ちている
木に もたれかかった 桜野は もう 目の前の光景もみえないよ
うだ あまりにも多くの血が原因で・

桜野 よかった 木が無事で・・・あのひととの約束の場所

桜野 あの人は絶対 着てくれる それまでは 私がここを守らな
いと 神様おねがい もう少し私に時間を・・・

もうろうとした意識の中で彼女は見た 彼の姿を それは かのじ
よだけに見える 幻影だった

桜野 ああ 雄二さん 帰ってきたんだ

桜野 雄二さん 約束守ってくれたんだ

桜野 わたし ずっとまっていたよ

彼女の見た げんえいは 微笑みかけていた・・・ことは出さずに・
・ でも かのじよには 聞こえた

雄二 うんうん オレかえってきたよ・・・やくそくだっただろ

雄二 もう一度ここで話そうといったじゃないか

もう彼女には 傷のいたみも 感じなくなってきた

桜野 よかった わたし あなたとの約束をまもれた

桜野 この木は 私たちの 願いをかなえてくれたんだ……

桜野 この木は……ずっと……わたし……彼女は

なにもいわなくなった

夕菜はその光景をみて とても大切な事を なにか 心の隅に感じたような気がした

あたりがだんだん ぼーとしてきて 夕菜は また 周りが暗くな
った

琴葉 夕菜こんなトコで寝ていると風邪引くよ もう 先生は掃除
はいいつていったから 一緒に帰ろう

目を開けた夕菜はいつもの学校の桜の木の下にいた そばに居たの
は桜野でなく お友達の琴葉が立っていた

青井 あれ わたし 寝ちゃったみたいだね おかしな夢みちゃっ
た 何でだろう??

青井 琴葉 先に帰ってくれるかな?? ごめんね わたし 少し
行きたいところがあるの

琴葉 いいよ また、明日ね……バイバイ!!

友達には 先に かえってと つたえると 校舎の方に向かった

目的は図書室 夕菜はこの学校の昔を すこし しらべてみよう
とおもった

（後書き）

ぜひ本編 スケッチブックもよろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5042c/>

はじめての伝説(スケッチブック外伝)

2011年1月6日14時28分発行